

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		とろんこアカデミーブリック				公表日		2025年 2月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	0	学習支援を基軸にしていて学習個室とプレイルームに分けてあり、学習個室はひとりに1部屋提供し個別に支援している。				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	0	1対1の支援のため、子どもひとりに必ずスタッフを1人配置している。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	1	構造化をこころがけていて、一人ひとりの特性に配慮して部屋を決めている。	完全バリアフリーではないが、段差等はごく少なくなっている。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	0	子どもの成長に合わせて学習個室の机や椅子の高さを変えている。				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	0	学習個室はひとり1部屋提供している。				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10	0	支援ノート（子どもの記録）に個別支援計画を貼り付けていて、スタッフで共有をし、PDCAサイクルを実施している。				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	保護者とは、LINEで繋がっており意向等は即時対応するように心がけている。				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	スタッフが相談しやすい環境を心がけている。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	9		第三者評価は受けていない。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	法人内では行政規定の研修を実施していて、任意の研修は福祉人材センターからの案内等をスタッフノートで知らせている。				
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0	公表している。				
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10	0	保護者のニーズは面談時だけでなく、LUNEや電話でも話していて、その上で計画を作成している。				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0	子どもは担当者制にしていて常勤スタッフが日々非常勤スタッフにも聞き取りを行い共通理解に努めている。	非常勤スタッフへの聞き取り時間を増やしていくよう検討する。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0	支援ノート（子どもの記録）に個別支援計画を貼り付けていて、計画に沿った活動内容も共有している。				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	0	発達検査を受けられた時は、随時提供していただき、アセスメントを使用している。				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0	子どもの様子等、日々チームで共有して活動プログラムに反映させている。				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	1	随時、更新するよう心がけている。				

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	7		利用者様へ個別をお約束しているため、基本集団活動はしていない。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	1	支援ノートで共有しているが、別途口頭でも活動の意図や注意点を話している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	0	支援ノートで共有しているが、特に重要事項の報連相は口頭でできるよう徹底している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0	一人ひとりについて支援ノートを作成している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	10	0		利用者様へ個別をお約束しているため、「地域交流」は難しい。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	0	お楽しみタイム・リラックスタイムは自己選択・自己決定してもらっている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0	児童発達支援管理責任者及び施設管理者が参画し、関係機関連携を行っている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	0	児童発達支援管理責任者及び施設管理者が参画し、関係機関連携を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10	0	児童発達支援管理責任者及び施設管理者が参画し、関係機関連携を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	1	児童発達支援事業所を利用されていた場合は、情報共有を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	2	必要な生徒の場合は情報を提供している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	10	0	「訪問支援事業」にて支援を受けた。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	10		利用者様へ個別をお約束しているため、「地域交流」は難しい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9	1	自立支援協議会の会議及び研修に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	連絡帳やLINEで連絡している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	1	「ブリック・トピックス」にて情報提供している。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0	新規契約前に、保護者相談の時間を設けて確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10	0	面談時に同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0	電話・LINEや面談で保護者支援を行っている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	10		保護者のニーズが50%なのと、仕事を持っておられる保護者が大半なため、保護者会を設置していない。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0	苦情があった場合には迅速に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10	0	HPに毎日ブログで活動をアップしている。不定期で「ブリック・トピックス」を発行している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0	毎日のブログでは、子どもの顔が正面から写真に写らないように、また、氏名も映らないように留意している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	10		利用者様へ個別をお約束しているため、「地域交流」は難しい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	3		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0	定期的に避難訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	10	0	契約時の面談で確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	2		契約時の面談で確認しているが、「おやつ」の提供を行っていない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0	安全計画の研修や訓練を行っている。安全管理に留意して支援している。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	ヒヤリハットを作成して共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0	定期的に研修を行い、虐待防止に留意している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10	0		対象児童・生徒は現在利用者にはいない。	